

別表1

5. 韓国・朝鮮語実践力養成プログラム(10単位)

(1) プログラムの目的

本プログラムは、将来、韓国・朝鮮語圏への留学や大学院進学、就職などに韓国・朝鮮語を必要とする学生を対象とし、実践的な韓国・朝鮮語コミュニケーション能力を養成するとともに、それぞれの文化や社会について深い理解と知識を備えた人材育成を目的とする。

(2) プログラムの学修到達目標

- ① ハングル能力検定試験3級以上、又は韓国語能力試験(TOPIK)2級以上の語学力を保持している。
- ② 国際人として必要な韓国・朝鮮語圏の異文化に対する理解力や知識を十分有している。

(3) 履修資格

- 一 令和6年度以降に入学した者
- 二 韓国・朝鮮語 I (計2単位)を修得した者。又はハングル能力試験4級以上、韓国語能力試験(TOPIK)1級以上を取得している者。
- 三 上記一号、二号の規定にかかわらず、韓国・朝鮮語を母語とする学部留学生については、本プログラムを履修することができない。

(4) 履修手続

本プログラムを履修する者(以下「履修者」という。)は、次の各号の申請・提出により、履修手続をしなければならない。

- 一 本プログラムの履修申請
- 二 韓国・朝鮮語 I を修得していない者は、本プログラムの履修資格を証明する韓国・朝鮮語能力試験の成績等の書類及び
- 一 修得時期が確認できる書類を添付すること。

(5) 修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 本プログラムの対象科目を10単位以上修得しているものであること。

(6) 履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 2年次以上の学生であること。
- 二 本プログラムの対象科目を6単位修得済み、又は履修中であること。

- (7) 構成する授業科目及び履修方法
次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分		授業科目名	単位数	必修	選択
全学基礎教育科目	ユニバーサル科目群	実践韓国・朝鮮語(会話)A	2		10
		実践韓国・朝鮮語(会話)B	2		
		実践韓国・朝鮮語(読解・ライティング)A	2		
		実践韓国・朝鮮語(読解・ライティング)B	2		
		韓国・朝鮮語検定セミナーA	2		
		韓国・朝鮮語検定セミナーB	2		
		国際文化情報A(韓国・朝鮮語圏)	2		
		国際文化情報B(韓国・朝鮮語圏)	2		
		国際文化情報C(韓国・朝鮮語圏)	2		
		国際文化情報D(韓国・朝鮮語圏)	2		
		韓国の社会と文化A	2		
		韓国の社会と文化B	2		
		韓国の文化と風土	2		
合 計				10	